

別冊

平成25年度
三重県自主防災組織活動実態調査
結果報告書

三重県防災対策部
防災企画・地域支援課
平成25年12月

I 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、強い揺れや大きな津波によって多くの方々の尊い命が失われなど、甚大な被害が生じました。

三重県においても、南海トラフ沿いで発生する大規模な地震によって大きな被害が想定されることから、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまで取り組んできた様々な防災対策の検証・見直しを行っているところです。

地域防災力の向上に重要な役割を担う自主防災組織についても、活動の実態とその問題点を把握することで、今後の地域防災力の向上に役立てていくことを目的に、より効果的な事業を実施するため、県内の全自主防災組織を対象に調査を行いました。

II 調査の内容

三重県内の全自主防災組織に対し、郵送もしくは市町を通じて、各自主防災組織の代表者あてに調査票を送付する方法により実施し、前回調査の回収率を上回る 70%の組織から回答を得ました。

- 調査対象：3,616 組織【前回調査 3,669 組織】
- 回収率：70% (2,524 組織／3,616 組織)【前回調査 64%】
- 調査時期：平成 25 年 5 月～7 月*
- 調査項目：「名称・活動地区」「組織構成」「活動状況」「資機材」「その他」など、全 17 問を設定

※ アンケートの回答期限は 6 月 28 日（金）までであったが、自主防災組織の最新の名簿作成時期に合わせるため、松阪市分のアンケートについては、回答期限を 7 月 5 日（金）とした。

自主防災組織の代表者へ実際に送付したアンケート調査票を次頁以降に示す。

アンケート調査票

三重県内自主防災組織アンケート調査

自主防災組織に関するアンケート調査のお願い

平成25年5月

三重県防災対策部

防災企画・地域支援課

日頃から県政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、地震や津波などによって多くの方々の尊い命が失われるなど、甚大な被害が生じました。三重県においても、東海・東南海・南海地震の発生が危惧されている中、これらの大規模な災害が起こった場合、その被害を最小限におさえるためには、県民、自主防災組織、事業者、行政の各主体がそれぞれの責務と役割を理解し、互いに連携していくことが重要です。

このアンケート調査は、自主防災組織の活動状況とその課題を把握することで、今後の地域防災力の向上に役立てていくことを目的として、三重県内の全ての自主防災組織を対象に行うものです。

みなさまからいただいた情報は、このアンケートの目的のみに使用し、個人にご迷惑をかけることはありません。

なお、調査を実施するにあたり、皆様へアンケートを配布いただくなど、各市町にも協力いただいております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

— 記入に際してのお願い —

- アンケートは、自主防災組織の代表者の方に記入をお願いします。代表者の方が記入していただくことが難しい場合には、役員の方に記入をお願いします。
- 四角に囲まれた部分は、選択肢の中から番号に（ひとつだけ又はいくつでも）○をつけてください。
- 下線部の部分は、適当な言葉や数値を記入してください。また、ご意見を自由に記入していただくところがあります。
- 記入が終了したら、もう一度、記入漏れ等がないか確認してください。
- ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて投函してください。封筒に住所や氏名を記入する必要はありません。また、切手を貼る必要もありません。

【回答期限】平成25年 6月28日（金）

この調査についてのご意見・お問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

三重県防災対策部 防災企画・地域支援課 地域支援班 （担当：西口）

TEL : 059-224-2185 FAX : 059-224-2199 E-mail : bosai@pref.mie.jp

【問1】回答者及び自主防災組織についてお聞きします。

1-1. あなたの氏名等についてご記入ください。

氏名		役職	
連絡先	〒 () -]		

1-2. あなたが所属する自主防災組織の名称・対象地区名・世帯数をお答えください。

自主防災組織名		
対象地区	市町名：	世帯数
	地区名：	世帯

【問2】自主防災組織の構成についてお聞きします。

2-1. あなたの自主防災組織は、どのような組織で構成されていますか？（ひとつだけ○）

(1) 自治会（町内会）とは全く異なる別組織
(2) 自治会（町内会）やマンションの管理組合と同じ組織
(3) 自治会（町内会）やマンション等の中に、独自の自主防災活動部門がある
(4) 学区などでいくつかの自治会（町内会）等が集合して自主防災組織を作っている
(5) その他 ()

2-2. あなたの自主防災組織における、代表者の選出方法をお答えください。（ひとつだけ○）

(1) 自治会（町内会）の役員（会長等）が、自主防災の代表者を兼任する。
(2) 自治会（町内会）の役員とは別の人を、自主防災の代表者として選任する。
(3) その他 ()

2-3. あなたの自主防災組織における、代表者の任期をお答えください。（ひとつだけ○）

(1) 1年以上2年未満
(2) 2年以上3年未満
(3) 3年以上
(4) その他 ()

【問3】あなたの自主防災組織は、現在、どのような状況だと思いますか？（ひとつだけ○）

また、そう思われる理由をご記入ください。

(1) とても活発に活動している (2) 一応の活動はしている (3) ほとんど活動していない
<理由>

【問4】あなたの自主防災組織の活動状況についてお聞きします。

4-1. あなたの自主防災組織では、具体的にどのような訓練を行っていますか？

(1) 行っている訓練の内容をお答えください。（いくつでも○）

(1) 避難訓練 (2) 図上訓練 (3) 避難所開設・運営訓練 (4) 夜間訓練
(5) 消火・放水訓練 (6) 救出・救助訓練 (7) 応急救護訓練 (8) 炊き出し訓練
(9) 連絡網を使用した情報伝達訓練 (10) 介護が必要な人の介助訓練 (11) 行っていない
(12) その他 ()

(2) 訓練の実施頻度をお答えください。（ひとつだけ○）

(1) 1年に1回
(2) 1年に2回以上
(3) 2～3年に1回
(4) その他 () 年に () 回程度

(3) その防災訓練（避難訓練を含む）は、どのように実施していますか？（いくつでも○）

(1) 市や町が実施する防災訓練に参加
(2) 市や町が実施する防災訓練にあわせて、自主防災組織で防災訓練を実施
(3) 連合自治会や連合自主防災組織協議会で実施する防災訓練に参加
(4) 自主防災組織独自で訓練を実施
(5) その他 ()

4-2. 次のような防災訓練以外の活動を行ったことがありますか？（いくつでも○）

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| (1) 防災マップの作成 | (2) 避難マニュアルの作成 |
| (3) 避難所運営マニュアルの作成 | (4) 災害時要援護者台帳等の作成 |
| (5) 地域での研修会の参加 | (6) 防災に関する広報紙の作成・配布 |
| (7) 家屋の耐震化、家具固定、火災報知機設置の促進・指導 | (8) 行っていない |
| (9) その他 (_____) | |

4-3. 防災訓練と防災訓練以外の活動について、
地域住民の参加状況はいかがですか？（ひとつだけ○）

- | | | | |
|------------|--------------|----------|--------------------|
| (1) 主に役員のみ | (2) 役員と一部の住民 | (3) 半分程度 | (4) ほとんどの住民が参加している |
|------------|--------------|----------|--------------------|

4-4. 今後取り組んでみたい防災訓練以外の活動はありますか？（いくつでも○）

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| (1) 防災マップの作成 | (2) 避難マニュアルの作成 |
| (3) 避難所運営マニュアルの作成 | (4) 災害時要援護者台帳等の作成 |
| (5) 地域での研修会の参加 | (6) 防災に関する広報紙の作成・配布 |
| (7) 家屋の耐震化、家具固定、火災報知機設置の促進・指導 | |
| (8) その他 (_____) | |

【問5】防災資機材についてお聞きします。

5-1. あなたの自主防災組織が保有している防災資機材で、
不足していると思うものはありますか？（いくつでも○）

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| (1) 情報伝達用（簡易無線等） | (2) 初期消火用（消火器、バケツ等） |
| (3) 救助用（パール、ジャッキ等） | (4) 救護用（担架、救急セット等） |
| (5) 避難用（懐中電灯、ヘルメット等） | (6) 避難生活用（炊き出し鍋、非常用発電機等） |
| (7) 防災倉庫 | (8) 足りている |
| (9) その他 (_____) | |

5-2. 発災時に、防災資機材を正しく利用できると思いますか？（ひとつだけ○）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (1) ほぼすべての住民が利用できる | (2) 役員など、一部の住民が利用できる |
| (3) 利用できない、操作できない | |

【問6】あなたの自主防災組織において、何か工夫していることがあったら教えてください。

例) 祭りなどの地域行事やイベント時に、防災啓発活動を実施している。

【問7】あなたの自主防災組織は、地域にある他の団体や組織と交流や連携することはありますか？

(いくつでも○)

(1) 学校 (2) 事業所 (3) 他の自主防災組織 (4) 自治会(町内会)

(5) 交流・連携している組織はない

(6) その他 (_____)

【問8】今後、あなたの自主防災組織が、さらに活発に活動していくためには、どのような課題が

ありますか？ 記入例) 予算の問題、行政との連携等

◎その他、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 市町別調査票回収状況

回答数は、前回調査の 2,363 組織（64%）を上回る 2,524 組織（70%）から回答があった。市町別の調査票回収状況を表 1 に示す。前回調査の回収率を上回ったのは 20 市町、下回ったのは 8 市町、同率は 1 市町であった。

表 1 市町別調査票回収状況表

平成25年7月12日現在

地区	No.	市町名	市町把握数(H25.4.1)		実送付数	回収数	回収率	備考
			自治会数	自主防災組織数				
桑名	1	桑名市	685	289	289	210	73%	
	2	いなべ市	120	61	61	44	72%	
	3	木曽岬町	40	16	16	9	56%	
	4	東員町	23	23	23	16	70%	
四日市	5	四日市市	714	680	680	430	63%	
	6	菰野町	39	36	36	28	78%	
	7	朝日町	9	9	9	8	89%	
	8	川越町	10	10	10	6	60%	
鈴鹿	9	鈴鹿市	398	292	292	227	78%	
	10	亀山市	181	151	151	112	74%	
津	11	津市	1007	680	680	468	69%	
松阪	12	松阪市	442	300	300	209	70%	
	13	多気町	49	41	41	36	88%	
	14	明和町	98	61	61	43	70%	全ての自治会(94団体)に調査票を配布したため、回答数は67となったが、自主防災組織名に記述があった回答のみ有効とする。
	15	大台町	47	47	47	37	79%	
南勢伊勢	16	伊勢市	173	125	122	90	74%	自主防災組織としては125であるが、実態があるのは122のため、配布数は122。
	17	鳥羽市	47	45	45	33	73%	
	18	志摩市	49	42	42	25	60%	
	19	玉城町	68	20	20	12	60%	
	20	南伊勢町	38	37	37	24	65%	
	21	大紀町	87	34	25	16	64%	実送付数は25でよいとの連絡が町からあり。
	22	度会町	36	36	36	27	75%	
伊賀	23	伊賀市	277	308	290	229	79%	小田地区は19の自主防災会がひとつにまとまって活動しているため、送付は1部でよいとの連絡が伊賀市民センターからあり。
	24	名張市	15	15	15	12	80%	
紀北	25	尾鷲市	91	78	78	44	56%	
	26	紀北町	111	46	46	38	83%	
紀南	27	熊野市	114	66	66	41	62%	
	28	御浜町	20	62	62	20	32%	
	29	紀宝町	14	36	36	26	72%	
不明			—	—	—	4	—	桑名2+四日市1+伊賀1
合計			5,002	3,646	3,616	2,524	70%	

IV 調査結果概要

IV-1 県全体集計結果

○自主防災組織の構成

「自治会やマンションの管理組合と同じ組織」(52%)、「自治会やマンションの中に、独自の自主防災活動部門がある」(19%)、「学校区などでいくつかの自治会等が集合して自主防災組織を作っている」(13%)のいずれかと回答した方が、合わせて84%となっており、自治会との関連性が強いことがわかります。

○自主防災組織代表者の選出方法・任期

選出方法は、「自治会の役員が、自主防災の代表者を兼任する」が83%と最も多く、また、任期は、「1年以上2年未満」または「2年以上3年未満」と答えた方が73%となっています。

○自主防災組織の活動状況

「とても活発に活動している」が8%、「一応の活動はしている」が64%、「ほとんど活動していない」が26%となっています。

○訓練内容・訓練頻度

実施している訓練は、「消火・放水訓練」、「避難訓練」、「応急救護訓練」の順に多く、比較的取り組みやすい訓練が上位となっています。

一方、「夜間訓練」、「介護が必要な人の介助訓練」、「図上訓練」など、やや高度な内容の訓練を実施している組織も若干ですが存在しています。

また、訓練の頻度については、「1年に1回」との回答が最も多く、少なくとも1年に1回以上の訓練を行っているのは、全体の80%との結果となっています。

○防災訓練以外の活動

「地域での研修会の参加」が最も多く、次いで「災害時要援護者台帳等の作成」、「防災マップの作成」の順に多い結果となっています。

○地域住民の参加状況

「主に役員のみ」(15%)または「役員と一部の住民」(47%)と回答した方は全体の62%にのびります。一方、「ほとんどの住民が参加している」と回答したのは15%、「半分程度」と回答した方と合わせても33%に留まっています。

○今後取り組みたい防災訓練以外の活動

今後取り組んでみたい防災訓練以外の活動については、「避難マニュアルの作成」、「家具の耐震化、家具固定、火災報知器設置の促進・指導」、「地域での研修会の参加」の順に多い結果となっています。

○不足している防災資機材

「避難生活用（炊き出し鍋、非常用発電機等）」との回答が最も多く、次いで「情報伝達用（簡易無線等）」、「救護用（担架、救急セット等）」の順に多い結果となっています。

○防災資機材の操作

「役員など、一部の住民が利用できる」と回答した方が全体の80%を占め、「ほぼすべての住民が利用できる」と回答したのはわずか8%という結果となっています。

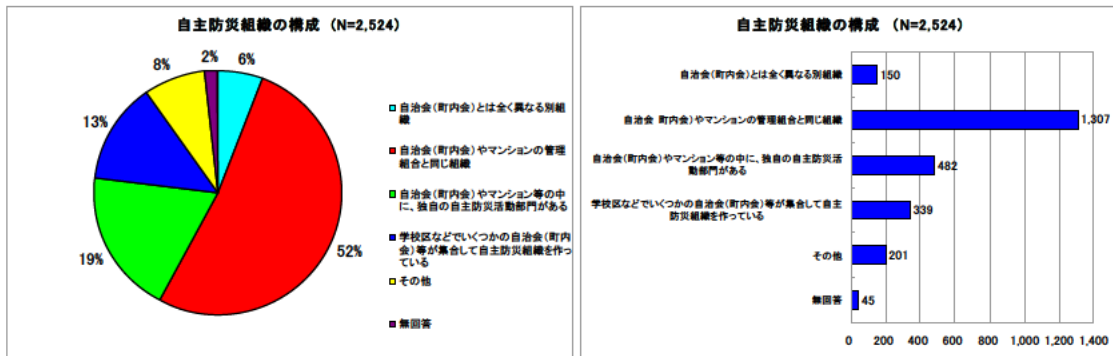
○他団体等との連携

「自治会」と回答した方が最も多く、一方で、「交流・連携している組織はない」、「他の自主防災組織」の順に多い結果となっています。

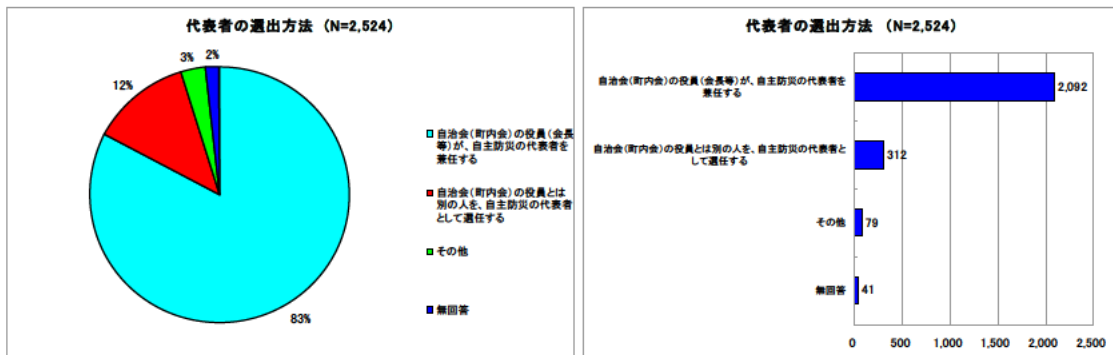
県全体の集計結果のグラフを次頁以降に示す。

【問2】自主防災組織についてお聞きします。

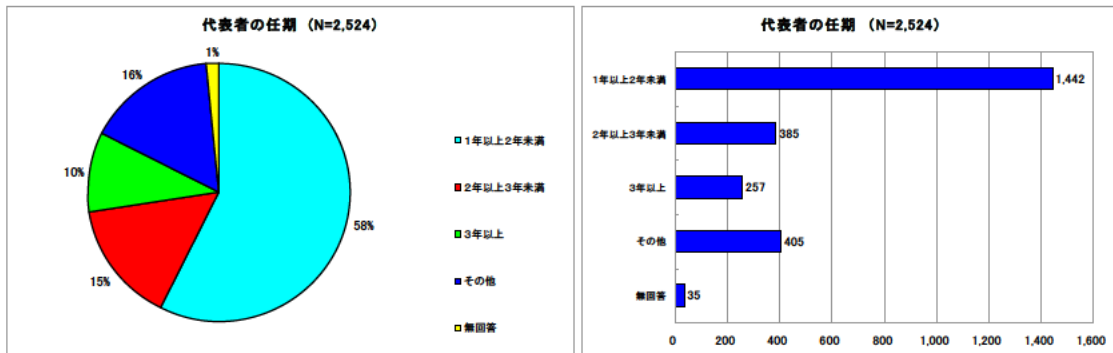
2-1. あなたの自主防災組織は、どのような組織で構成されていますか？(ひとつだけ○)



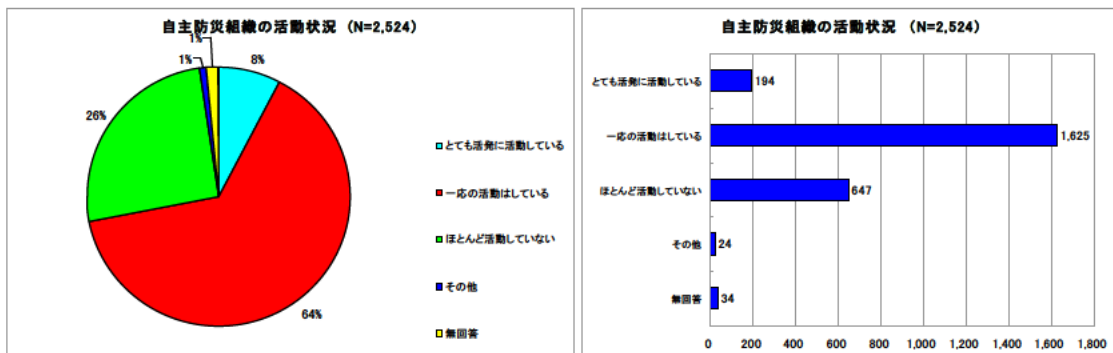
2-2. あなたの自主防災組織における、代表者の選出方法をお答えください。(ひとつだけ○)



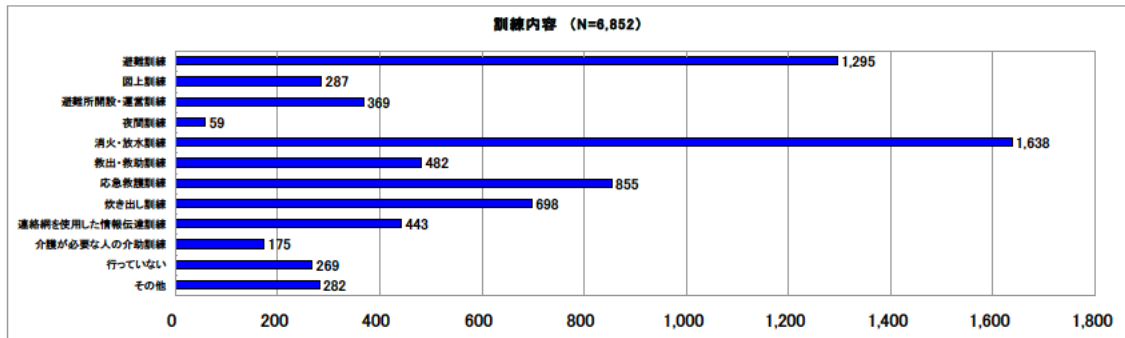
2-3. あなたの自主防災組織における、代表者の任期をお答えください。(ひとつだけ○)



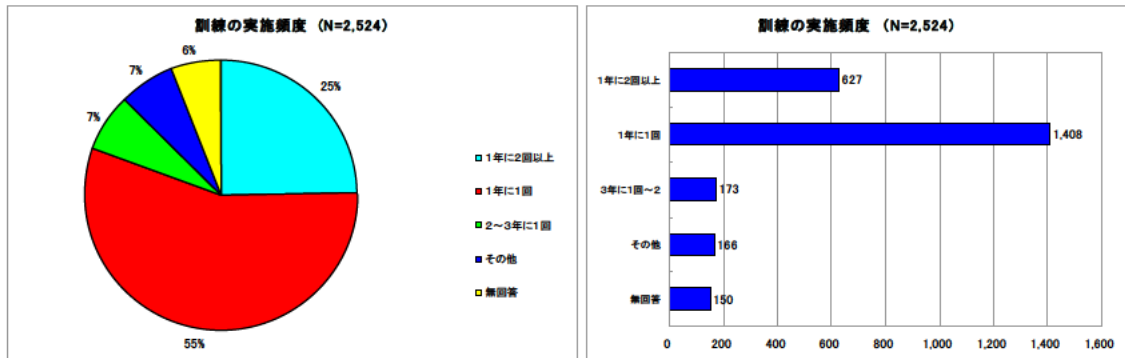
【問3】あなたの自主防災組織は、現在、どのような状況だと思いますか？(ひとつだけ○)



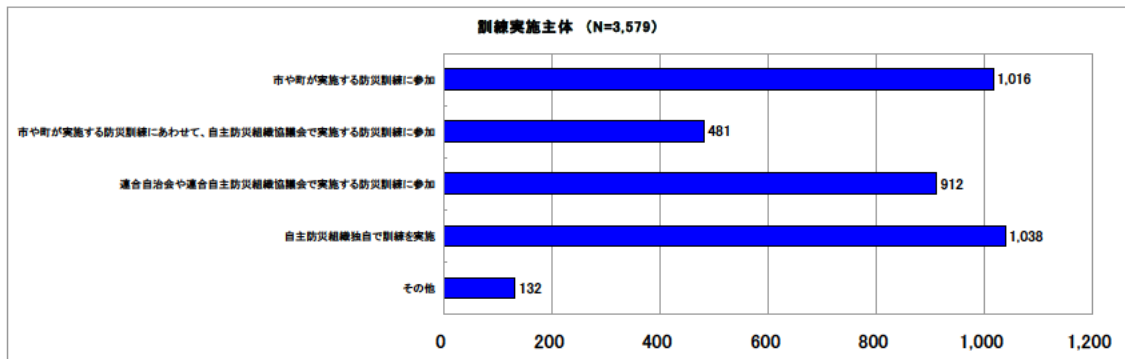
【問4】あなたの自主防災組織の活動状況についてお聞きします。
 4-1. あなたの自主防災組織では、具体的にどのような訓練を行っていますか。
 (1) 行っている訓練の内容をお答えください。(いくつでも○)



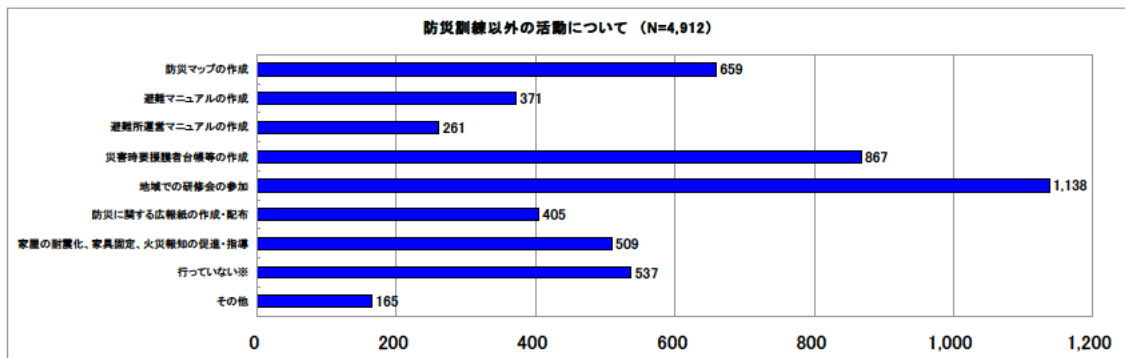
(2) 訓練の頻度をお答えください。(ひとつだけ○)



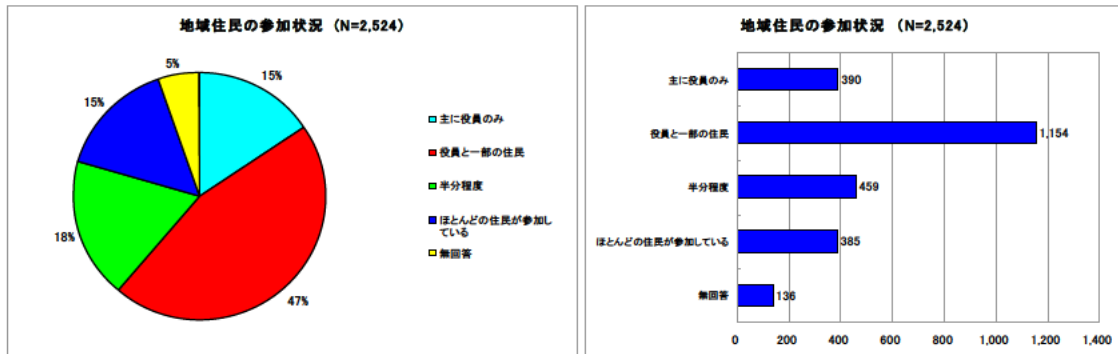
(3) その訓練(避難訓練を含む)は、どのように実施していますか？(いくつでも○)



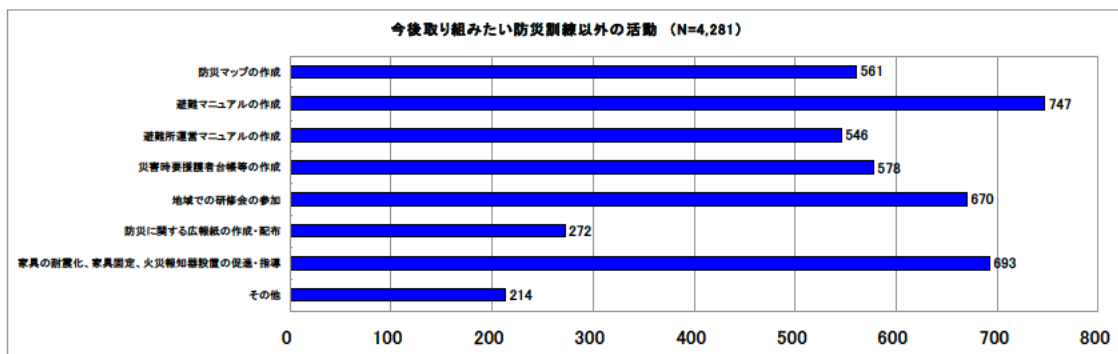
4-2. 次のような防災訓練以外の活動を行ったことがありますか？(いくつでも○)



4-3. 防災訓練と防災訓練以外の活動について、地域住民の参加状況はいかがですか？(ひとつだけ○)

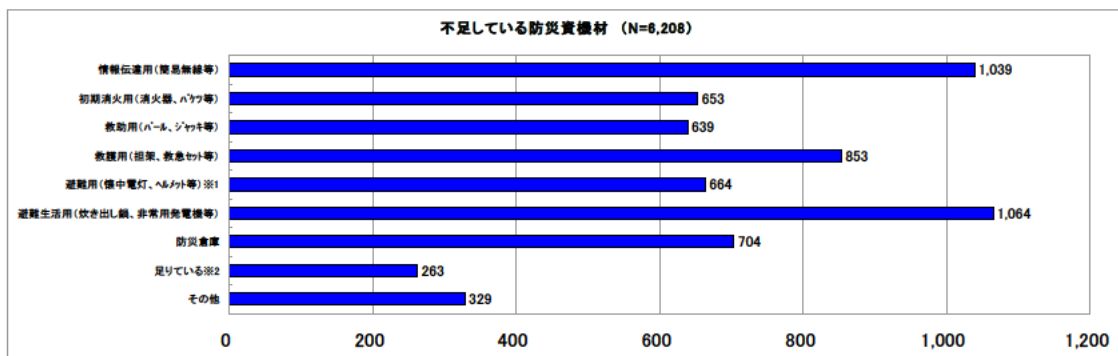


4-4. 今後取り組んでみたい防災訓練以外の活動はありますか？(いくつでも○)

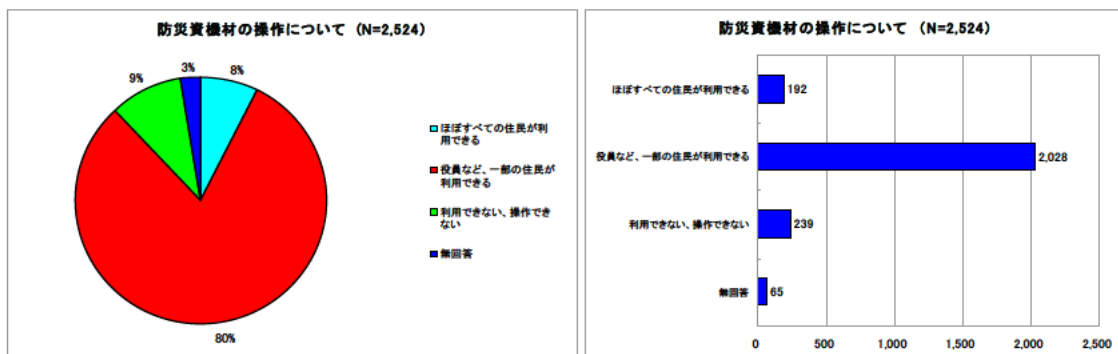


【問5】防災資機材についてお聞きします。

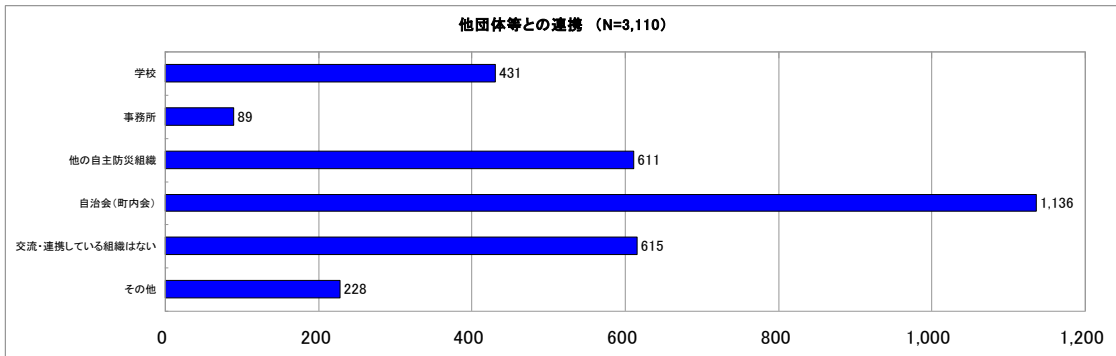
5-1. あなたの自主防災組織が保有している防災資機材で、不足していると思うものはありますか？(いくつでも○)



5-2. 発災時に、防災資機材を正しく利用できるとお考えですか？(ひとつだけ○)



【問7】あなたの自主防災組織は、地域にある他の団体や組織と交流や連携することはありますか？(いくつでも○)



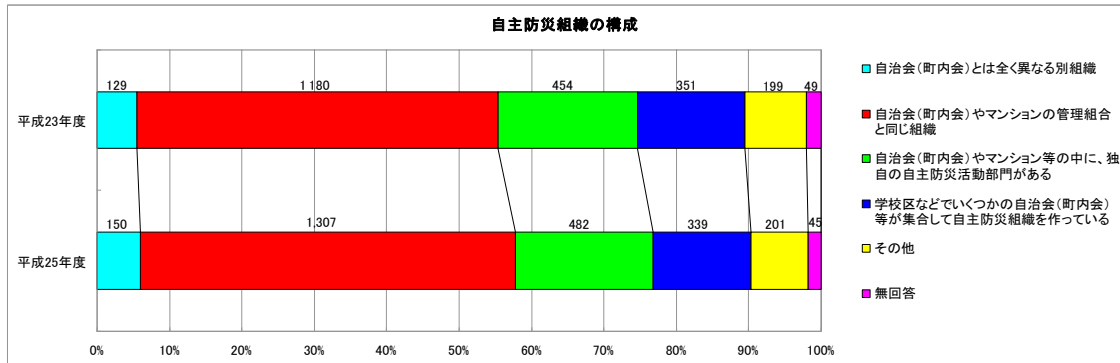
IV-2 前回調査との比較

- 自主防災組織の構成、代表者の選出方法
前回との差異はほとんど見受けられない。
- 自主防災組織の代表者の任期
「1年以上2年未満」と回答した方が、前回調査においては21%であったが、平成25年度は58%と大幅に増加しており、反対に「2年以上3年未満」の回答が大幅に減少しています。一方で、「3年以上」との回答が微増という結果となっています。
- 自主防災組織の活動状況
「とても活発に活動している」との回答が143組織から194組織へと、組織数は依然少ないものの増加しています。
- 訓練内容
「避難訓練」を行っている組織が1,071組織から1,295組織に、「図上訓練」を行っている組織が218組織から287組織に増加しています。
- 訓練頻度
「1年に2回以上」訓練を行っている組織が598組織から627組織に、「1年に1回」訓練を行っている組織が1,038組織から1,408組織に増加しています。少なくとも年に1回以上訓練を行っている組織は69%から80%に大幅に増加しています。
- 訓練実施主体
前回調査との差異はほとんど見受けられない。
- 防災訓練以外の活動
前回調査との差異はほとんど見受けられない。
- 地域住民の参加状況
「半分程度」、「ほとんどの住民が参加している」と回答した組織がともに、若干ながら増加しています。
- 不足している防災資機材
前回調査との差異はほとんど見受けられない。
- 防災資機材の操作
前回調査との差異はほとんど見受けられない。
- 他団体等との連携
交流や連携をしていない組織数は減少しており、他団体等との交流や連携をしている組織が増加しています。特に学校と交流や連携をしている組織が増加しています。

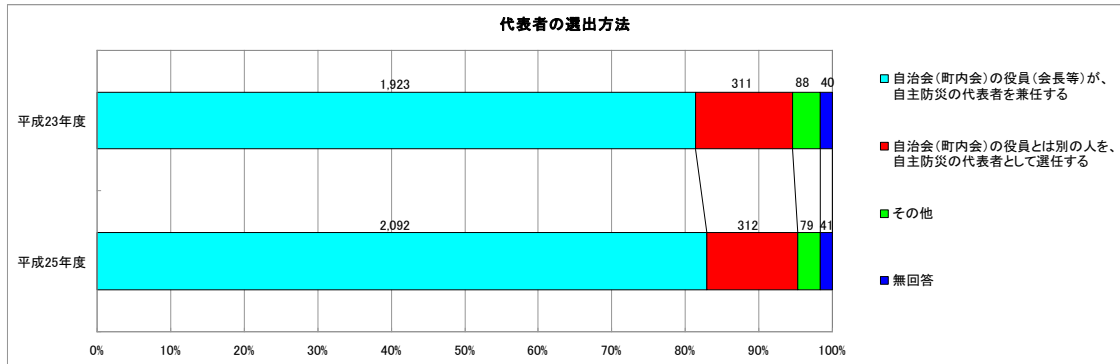
前回調査との比較を行ったグラフを次頁以降に示す。

【問2】自主防災組織についてお聞きします。

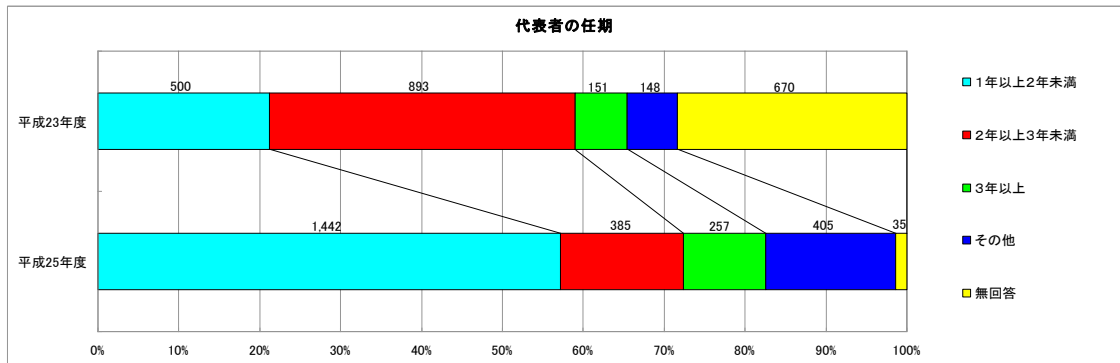
2-1. あなたの自主防災組織は、どのような組織で構成されていますか？(ひとつだけ○)



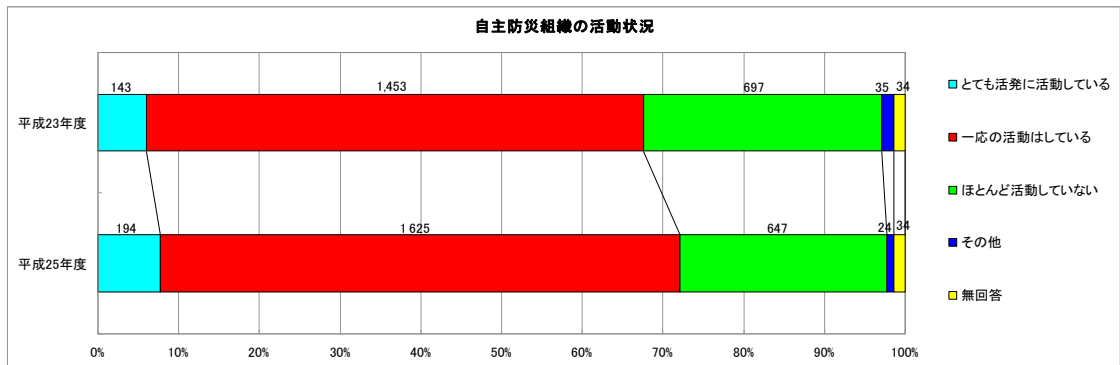
2-2. あなたの自主防災組織における、代表者の選出方法をお答えください。(ひとつだけ○)



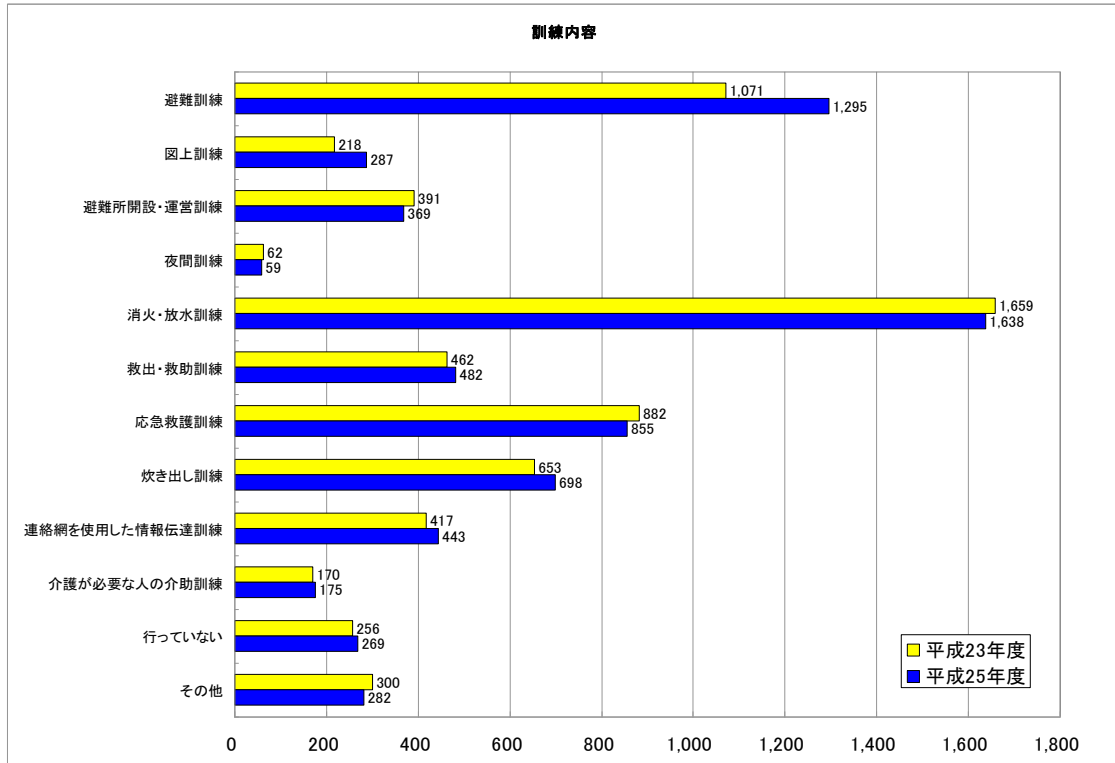
2-3. あなたの自主防災組織における、代表者の任期をお答えください。(ひとつだけ○)



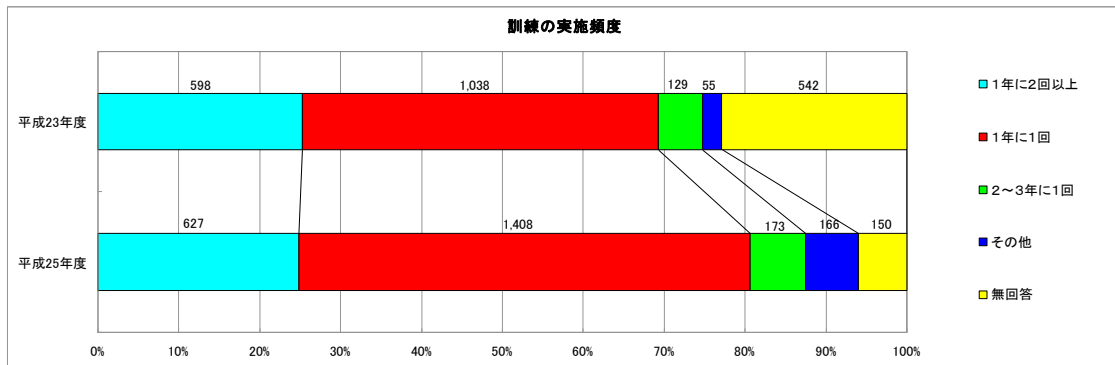
【問3】あなたの自主防災組織は、現在、どのような状況だと思いますか？(ひとつだけ○)



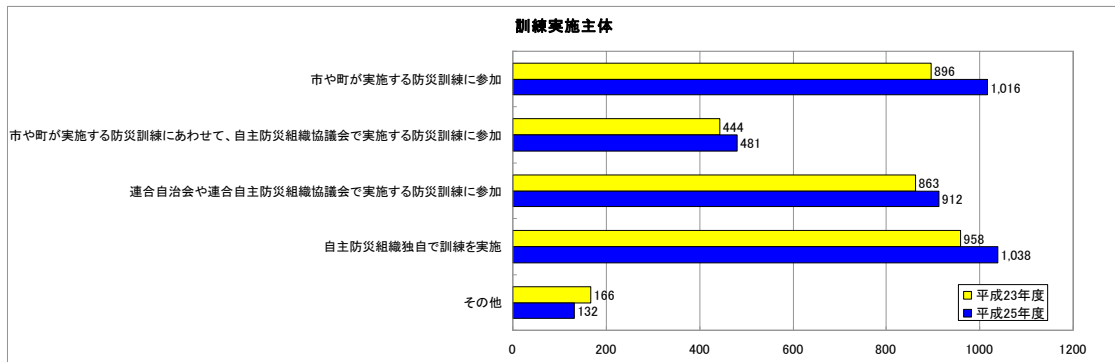
【問4】あなたの自主防災組織の活動状況についてお聞きします。
 4-1. あなたの自主防災組織では、具体的にどのような訓練を行っていますか。
 (1) 行っている訓練の内容をお答えください。(いくつでも○)



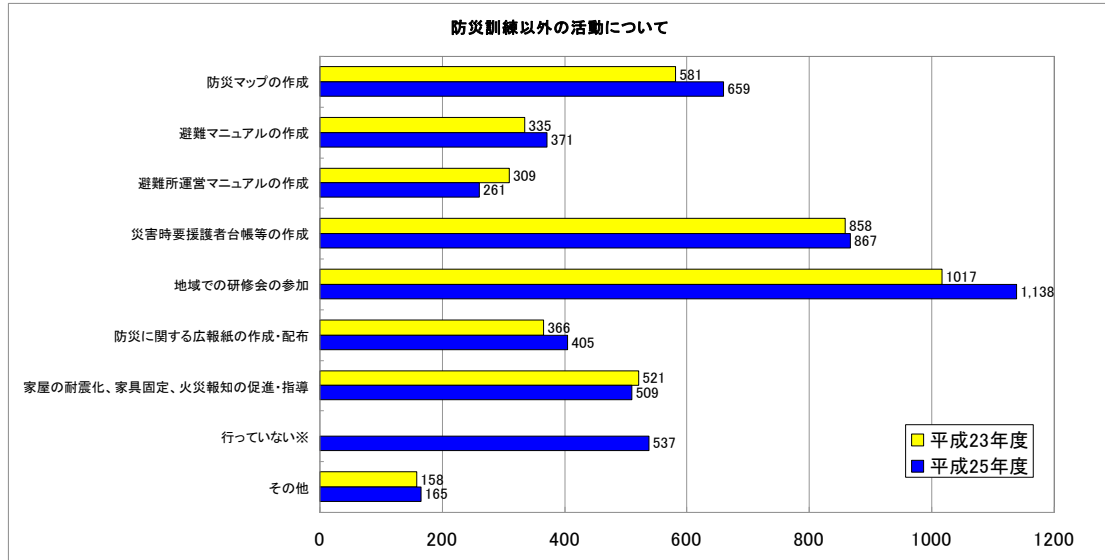
(2) 訓練の頻度をお答えください。(ひとつだけ○)



(3) その訓練(避難訓練を含む)は、どのように実施していますか？(いくつでも○)

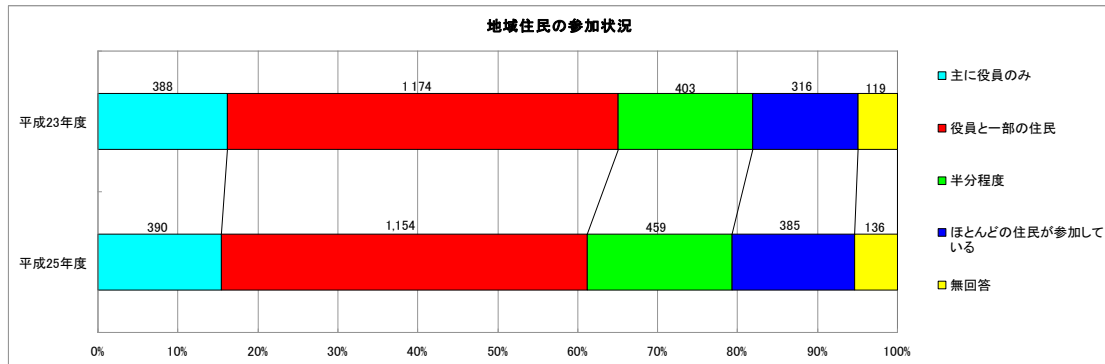


4-2. 次のような防災訓練以外の活動を行ったことがありますか？(いくつでも○)



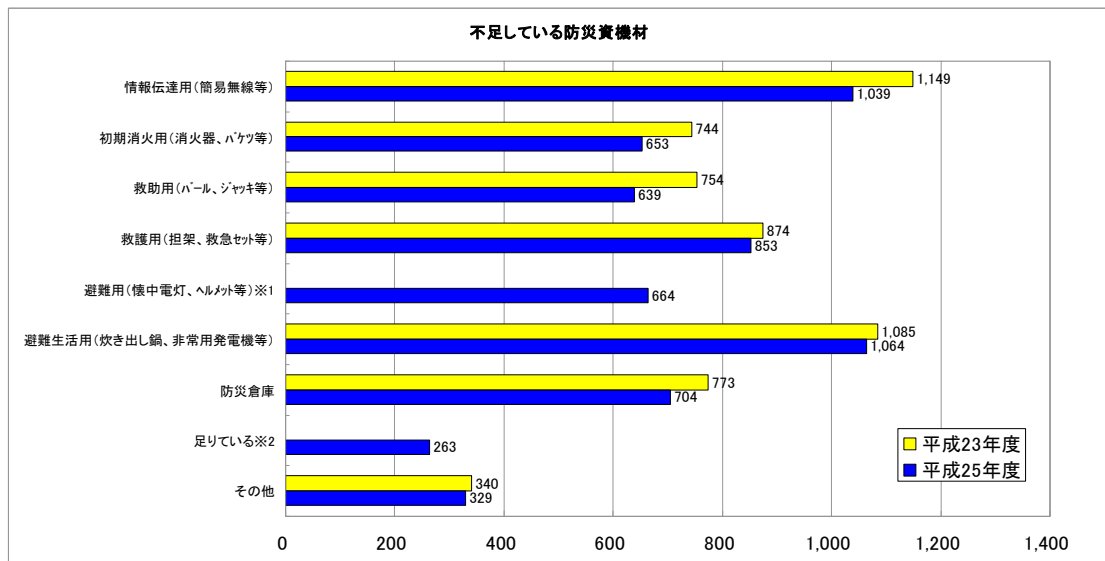
※ 平成23年度調査において、回答の選択肢に「行っていない」の項目なし。

4-3. 防災訓練と防災訓練以外の活動について、地域住民の参加状況はいかがですか？(ひとつだけ○)



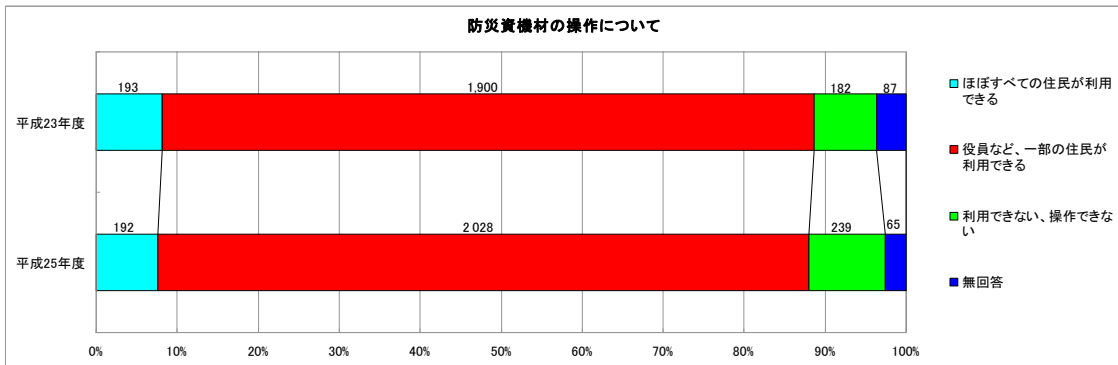
【問5】防災資機材についてお聞きします。

5-1. あなたの自主防災組織が保有している防災資機材で、不足していると思うものはありますか？(いくつでも○)



※1、※2 平成23年度調査において、回答の選択肢に「避難用(懐中電灯、ヘルメット等)」及び「足りている」の項目なし。

5-2. 発災時に、防災資機材を正しく利用できると思いますか？(ひとつだけ○)



【問7】あなたの自主防災組織は、地域にある他の団体や組織と交流や連携することはありますか。(いくつでも○)

